

若い力でバックアップします。

new-face!



担当外の仕事でも積極的にお手伝い。JAのいろいろな仕事を早く覚えたいと思っています。



いつもは金融共済の窓口にあります。気軽にお声がけ下さい。

JAの お仕事 拝見

JAやまがた
西部支店金融共済課

西部支店・金融共済課の後藤敦です。
新人で至らない点もありますが、
日々進歩を目指してがんばります。

●西部支店に配属されて約3ヶ月半。もうすっかり仕事にも慣れたみたいですね。
後藤 おかげさまで、仕事は一通りこなせるようにはなりました。でも、教えてもらった仕事のやりかたをな

んとかできるようになったという程度で、マニュアルにない想定外のことがあったりすると、まだ対処するのに困ってしまい、先輩や上司に教わりながらの毎日です。
●担当する仕事は金融共済の窓口で

すね？
後藤 はいそうです。いつも窓口にいます。自動車共済や火災共済、それに自賠責などの短期共済を担当しています。ただ他の仕事も、たとえば購買の仕事なども、支店内に担当の人がいない場合などは代わって対応に当たっています。
●JAにはいろいろな仕事がありますが、将来的にやってみたい仕事というのはありますか？
後藤 まだ入組して3ヶ月半ですの



で、将来はどんな仕事というのは具体的にありません。これからのいろいろな仕事を担当させてもらえると思いますが、その一つひとつに一生懸命取り組んで、やりがいを見つけていければと思います。ただこの3ヶ月半で、なんとなくですが、お客様や組合員の皆様と直に接する仕事をしたいと思うようになりました。

毎日少しずつでも進歩・成長するた
めががんばりますので、今後ともど
うぞよろしくお願ひします。

●最後に何か一言メッセージを！
後藤 はい、まだ新人で至らないところもたくさんあると思いますが、

●西部支店金融共済課 ことあつし 後藤 敦さん

山形南高等学校、大東文化大学(経済学部)卒業。今年度、JAやまがたに新規採用となり、4月から西部支店金融共済課に配属となる。趣味はドライブと散歩。27歳。山形市在住。



JAやまがた
西部支店



所在地/山形市大字門伝字下
4295-1
電話/023-647-1010

●昔はこんな民具が活躍していました。



現在のように電気式の冷蔵庫が普及したのは、昭和30年代から40年代にかけての高度成長期。テレビ・洗濯機・冷蔵庫が家電の三種の神器といわれた時代です。それ以前の冷蔵庫は木製で、氷屋さんから買ってきた氷を中に入れて、その冷気で冷やす仕組みでした。一般にも販売はされていましたが、写真の冷蔵庫は製品名が入っていることから、メーカーが販売店向けに用意したもののようです。近年はそのレトロな雰囲気の魅力ということで、復刻版まで登場している木製冷蔵庫。皆さんの家の小屋や蔵に、残ってませんか？!

現在のように電気式の冷蔵庫が普及したのは、昭和30年代から40年代にかけての高度成長期。テレビ・洗濯機・冷蔵庫が家電の三種の神器といわれた時代です。それ以前の冷蔵庫は木製で、氷屋さんから買ってきた氷を中に入れて、その冷気で冷やす仕組みでした。一般にも販売はされていましたが、写真の冷蔵庫は製品名が入っていることから、メーカーが販売店向けに用意したもののようです。近年はそのレトロな雰囲気の魅力ということで、復刻版まで登場している木製冷蔵庫。皆さんの家の小屋や蔵に、残ってませんか？!

[資料提供]
山形市郷土資料収蔵所
住所 山形県山形市青田南1番1号
TEL 023-631-7022

JA YAMAGATA MONTHLY

今月の表紙



山形市今塚

丹野雅彦さん、郁子さん、叶夢くん4ヶ月
麗子さん、和彦さん、郁美さん

丹野さんは、農事組合法人やまがたファームの代表理事をされています。やまがたファームでは、この春より檀野前に「大郷ひろびろ直売所・加工所」を開設しました。ぜひお立ち寄り下さい。

懐かしの民具

木製冷蔵庫

2008 08 月号 目次

- 懐かしの民具 ②
- JAの仕事人 ③
- AGRI+ おうとう新品種『紅きらり』 ④
- 営農情報 ⑥
- 8月号特別企画
秋葉勝選手インタビュー ⑧
- News Topics ⑩
- 地域の話題 ⑫
- フラワーアレンジ&ガーデンング ⑬
- INFORMATION ⑭
- プロが作るオリジナル料理 ⑯



おうとう新品種

『紅きらり』

『自家和合性』という特性を携えて、
新しいさくらんぼ、遂にデビュー！



「紅きらり」の樹体（開花期）



「紅きらり」の果実

今年春、「紅秀峰」「紅さやか」「紅てまり」に続く県産さくらんぼの新品種「紅きらり」の苗木販売がスタートし、苗木600数十本が県内のさくらんぼ農家のもとへ届けられました。これまでのさくらんぼになかった「自家和合性」という特性を持ち、着色も食味も良好であるため、関係者の間では大きな期待が寄せられています。今回はその期待の新品種「紅きらり」を開発・育種した山形県農業総合研究センター農業生産技術試験場（寒河江市）をお訪ねし、実際に育種を担当してきたバイオ育種科・主任

専門研究員の石黒亮さんに、詳しいお話を伺ってきました。
今年から苗木販売がスタートした「紅きらり」についていろいろお伺いしたいのですが、まずこの新品種の一番の特性は、「自家和合性」ということでよろしいですか？
石黒 はい、それでよろしいかと思えます。さくらん

表1 おうとう「紅きらり」と主要品種間の交雑和合性（山形農総研センター）

実施年	種子親	花粉親	交雑花数	結実数	結実率(%)
平成10年	佐藤錦	紅きらり	142	30	21.1
平成10年	ナポレオン	紅きらり	186	76	40.9
平成10年	高砂	紅きらり	140	6	4.3
平成11年	紅さやか	紅きらり	200	59	29.5
平成11年	紅秀峰	紅きらり	243	128	52.7
平成12年	紅てまり	紅きらり	140	53	37.9
平成12年	レーニア	紅きらり	113	81	71.7
平成12年	南陽	紅きらり	149	71	47.7
平成11年	紅きらり	高砂	27	6	22.2
平成11年	紅きらり	紅てまり	25	5	20.0
平成12年	紅きらり	レーニア	48	0	0.0
平成12年	紅きらり	紅きらり	30	10	33.3

表2 おうとう品種の自家不和合群の分類（山形農総研セ2006）

S遺伝子型	品種・系統名
グループ1	Van
グループ2	Rainier、大将錦、紅きらり [®] 、Celeste [®] 、Lapins [®]
グループ3	Seneca
グループ4	高砂、紅さやか、紅てまり、北光
グループ5	Adriana
グループ6	高陽錦、ナポレオン、Compact stella、Sweet Heart
グループ7	Hedelfingen
グループ8	Glorious Starkgold、月山錦、黄玉、佐藤錦、南陽、富士山、桜頂錦、山形美人、ダイアナブライト
グループ9	Burlat
グループ10	巨紅
グループ11	Merton Glory、香夏錦、正光錦、紅秀峰
グループ12	Inge
グループ13	Jaboulay Bigarreau

※自家和合性品種

は農家の皆さんは既にご存じのように、バラ科果樹のおうとう（以下、さくらんぼ）は、どの品種も単独では結実しない。自家不和合性」という性質を持っています。そのため農家の皆さんは、佐藤錦を生産するため「受粉樹」として紅秀峰やナポレオンなど他品種を園地内に混植しているわけですが、佐藤錦の生産量を増やしたい農家の皆さんとしては、できるだけそうした受粉樹は少ない本数を抑えたい。しかし受粉樹が少ないと、開花期に低温、曇天、降雨といった悪条件が重なったりしたときに、今年のように受粉がうまくいかず生産量が減ってしまう。そのため受粉樹なしで結実する「自家和合性」の品種を作ることが、私たちとしても長年の大きなテーマでした。

緻密さはなくやや粗さがありますが、食べた瞬間は口の中に果汁がジュワつと広がり、それがすごく美味しさを感ぜさせます。また果肉が核（種のこと）から離れやすいのも特徴で、すごく食べやすいと思います。果実の大きさは8〜9gあり、佐藤錦と同等かそれ以上。そして肝心の味ですが、糖度は18〜19%、酸度は0.6〜0.8g/100mlで、佐藤錦より酸度が少なく、食べた感じとしては「すっきり」とした甘さっぱりした甘さをイメージしていただくよいかと思えます。

「食べた瞬間、口の中に果汁がジュワつと広がる」ところが、すごく美味しそうな感じですね。他に、栽培する上で農家の皆さんの参考になることはありますか？

石黒 栽培の参考になるということでは、まず開花期、これは佐藤錦に比べ1〜3日早く、ナポレオンと同時期です。樹勢は中々や強めで、枝梢の発生はやや少なめ。樹姿はやや直立する性質を持っています。そのため受光体制（日光を受ける体制）が良好で、着色が良いと思われれます。また花東状短果枝の着生は中程度で、佐藤錦並み



開花時の交雑作業



「紅きらり」の母親：大玉で肉質の硬い「レーニア」



「紅きらり」の父親：自家和合性の「コンパクトステラ」



品質・食味測定



糖度測定



酸度測定

かやや少なめといった感じですね。それと「紅きらり」は「自家和合性」で自身自身の花粉で実を結ぶことができるわけですが、あらゆる品種と「交雑和合性」があり、受粉樹として大いに期待できると思います。これはさくらんぼ農家の皆さんにとって、大変大きなメリットになるかと思えます。

「この表1を見ると、結実率はさまざまですが、本当にすべての品種の花粉親となって実を結んでいるのがわかります。気になる病害に対してはどうですか？
石黒 さくらんぼの主要病害である灰星病、黒斑病、樹脂細菌病などに対しては佐藤錦並みの強さで、通常の防除体系で問題ないと思います。ただ降雨により裂果するので、完熟果収穫のためには雨よけ栽培が望ましいといえますね。

いろいろなお話を伺ってきて、「紅きらり」が単独の品種として、また他品種の受粉樹として大きな可能性を持っていることがよくわかりました。あとは生産農家がいかにこの「紅きらり」を取り入れていくかですね。

石黒 そうですね、私たちはさくらんぼの開発・育種を担う機関ですので、あとは農協さんや生産農家の皆さんに新品種の特質をよくご理解いただき、栽培に取り組んで

いただければありがたいです。
また研究開発が続くわけですね。石黒 そうですね。実は「紅きらり」に続く品種もすぐ後に控えています。7月11日に官報で「紅ゆたか」という新しいさくらんぼが公表されました。まだ「出願公表」の段階で、登録されたということではありませんが、いずれ登録ということになるかと思っています。私の後任でこの4月からおうとう育種指定試験事業（農林水産省）を担当している八重垣英明も、佐藤錦のような人気のある新品種を目指して精力的に開発・育種に取り組んでいます。育種は時間がかかり根気のいる仕事ですが、今後も期待していただいているかと思っています。

「全国一のさくらんぼ生産県としての地位を維持するため、いつの日か、佐藤錦を超える素晴らしい品種が生まれるよう期待しています。本日はありがとうございました。」



今回お話を伺ったのは、山形県農業総合研究センター・農業生産技術試験場（寒河江市）でバイオ育種科・主任専門研究員を務める石黒亮さん。長年に渡っておうとう育種を担当され、山形のさくらんぼ生産にも多大な貢献をされてきた方です。

平成19年度青果物安全対策事業収支報告書

山形農協農政対策協議会・支店長合同会議

平成19年度青果物安全対策事業収支報告書

(単位：円・%)

項目	本年度計画	本年度実績	前年度実績	計画対比	前年対比	備考
事業収益						
青果物安全対策費	19,400,000	27,899,253	26,971,488	143.8	103.4	販売品からの負担金
安全安心補助金	500,000	-	-	-	-	
その他	100,000	44,000	294,380	44.0	14.9	きゅうりドリン関係実負担 他
合計	20,000,000	27,943,253	27,265,868	139.7	102.5	
事業費用						
JA全農安全対策費	5,000,000	5,007,670	5,433,115	100.2	92.2	全農分析
分析関連事業費	6,200,000	9,158,655	7,259,731	147.7	126.2	日本環境化学分析、分析用サンプル代
販売中止保険料	5,800,000	5,904,390	5,617,580	101.8	105.1	共栄火災へ掛金
広告宣伝費	1,500,000	2,274,906	2,626,000	151.7	86.6	安全品質の消費宣伝等
会議研修費	300,000	149,837	176,683	49.9	84.8	安全対策各種会議
印刷、消耗費	1,000,000	1,090,780	1,110,571	109.1	98.2	履歴書、協定書等印刷、用紙代
その他	200,000	4,499,569	1,141,655	2,249.8	394.1	事務書類管理備品等、システム利用料
合計	20,000,000	28,085,807	23,365,335	140.4	120.2	
差引	-	-142,554	3,900,533			

農業基本政策に対し意思を反映させるために
山形農協農政対策協議会・支店長合同会議を開催

7月8日、JAやまがた本店において山形農協農政対策協議会・支店長合同会議が開催されました。会議では平成19年度農政活動報告および収支決算、平成20年度農政活動計画案および収支予算案について協議が行われました。また、平成20肥料年度価格についての説明が行われました。



◎平成19年度農政活動報告について

品目横断的経営安定対策のスタートに伴い、農業生産基盤の強化とともに政策・価格・経営安定対策の維持・充実に向けた運動を展開致しました。農協農政活動を強化するため、山形県農業協同組合中央会・山形県農協政治連盟と連携を密にし、農政活動を積極的に展開致しました。特に生産資材高騰のおり、再生産可能な価格維持に向けた取り組みを行いました。

◎平成20年度農政活動計画について

農畜産物価格の低迷や生産資材価格の高騰による農家経営への深刻な影響に対し、流通関係者・消費者および国・県・市町行政に働きかけ、価格転嫁に理解と協力を求める運動に取り組めます。



営農情報 Pick Up



北部営農センター
営農企画指導員 細谷 秀則
携帯番号 090-7320-4281

りんごの夏季管理

1. 着果量の見直し

本年は果実肥大が小玉傾向で変形果も見られるので、随時修正摘果を行い品質向上に努めましょう。

2. 徒長枝の管理

- A) 園地巡回を行い、樹冠内部の暗い園地については再度、徒長枝の管理整理を行い光の確保に努める。また、太った徒長枝は生育期後半まで養分を多く吸い上げるため、着色の仕上がりが悪くなります。
- B) 主枝などの太い枝や結果母枝の基部に発生した強い徒長枝もせん除して樹冠内に光が入るようにする。

3. 土壌管理

- A) 梅雨明け後に高温乾燥が続くときは、乾燥の程度にもよるが10a当り20~30mmを目標にかん水する。
- B) 除草をする時は、ダニ剤散布予定5~7日前に刈り取るようにする。

4. 支柱立て、枝つり

- A) 果実の肥大が進んでくると果実の重みで枝が下がり、日当たりや薬剤のかかりが悪くなるので、支柱立てや枝つりを行って枝どうしの間隔をあけるようにする。

5. 病虫害防除

- A) 8月は、病害では輪紋病、斑点落葉病、害虫では、ハダニ類、シンクイムシ類、キンモンホソガなどの重点防除時期です。(早生種の収穫時期に入りますので、使用期日には十分注意し、JAやまがた農作物病害虫防除暦「果樹」を参考に行ってください。)
- B) 農薬の安全使用基準を守って、隣接園への飛散に十分注意して適正に防除してください。

生産資材 NEWS



グリーンやまがた西部
きずな号担当 佐藤 正之輔
携帯番号 090-1065-8374

暑さの中、農作業大変ご苦労様です。

日頃、購買事業をご利用頂きありがとうございます。

8月からの予約とりまとめをお知らせいたします。

- ◎平成21年用水稲種子予約取りまとめ
- ◎平成21年用種子馬鈴薯予約取りまとめ
- ◎緊急備蓄ビニール・ポリ・PO予約取りまとめ

是非、予約・ご注文くださいますようお願い致します。

平成19年度山形農協農政対策協議会収支決算書

単位：円

【収入の部】

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘要
拠出金	6,296,000	6,254,700	-41,300	組合員・役職員より
一般会計繰入	2,250,000	2,250,000	0	山形農協より
繰越金	964,856	964,856	0	平成18年度より
雑収入	144	2,920	2,776	貯金利子
合計	9,511,000	9,472,476	-38,524	

【支出の部】

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘要
負担金	3,040,000	2,944,641	-95,359	山形県農協農政対策資金
会議費	600,000	979,668	379,668	会議日当・交通費、他
宣伝費	1,800,000	2,010,703	210,703	消費宣伝・地産地消・食育活動・広告印刷、他
施設費	40,000	0	-40,000	会議室借上料、他
活動費				
本部	2,800,000	2,213,452	-586,548	農政運動・街頭行進・農作物盗難防止対策 有害鳥獣対策・青年部・女性部支援、他
支部	1,217,300	1,192,200	-25,000	支部活動費
雑費	13,700	15,622	1,922	
合計	9,511,000	9,356,286	-154,714	

収入合計額 9,472,476 円
支出合計額 9,356,286 円
差引金額 116,190 円(次年度へ繰越)

モンテディオ山形 MF

秋葉勝選手

インタビュー

今期は6連勝なども記録して一時2位まで上がり、好調をキープしているモンテディオ山形。その「好調モンテ」の原動力となっている一人が、上山市出身のMF・秋葉勝選手です。ポランチという守備的なポジションながら積極的に攻撃にもからみ、得点はチーム2番目の5得点。今回は特別企画として、その秋葉選手のスペシャル・インタビューをお送りします。

サッカーを通じて山形をもっと盛り上げたい。そしてみんなでJ1へ！



©SPORTS YAMAGATA 21

ポランチの自分が攻守にがんばれば、それだけ勝利に近づけるいまは、それが自分の責任と思っています。

——現在（7月16日の取材時の時点）モンテディオ山形は、J2で4位。順位的にはいいところについて、サポーターや県民の間では、今年こそJ1昇格、という気運が高まっています。チーム内のムードはいかがですか？

秋葉 今期は一時2位まで行き、ここ最近負けが続いていま4位という状況なので、ムードは正直言っていまひとつなのですが、まだ26節が終わったばかり。J2は全45試合の長丁場ですから、これからまた立て直して順位を上げていきたいと思っています。他の選手もみんなモチベーションは高いですから、まだまだこれからです。

——秋葉選手は、2002年にプロデビューして今年で7年目。昨年までのリーグ戦総得点は7得点でしたが、今年はまだシーズン半ばで早くも5得点です。好調の要因は？

秋葉 ホントどうしたんでしょうね（笑）。得点は運もあると思いますが、今シーズンは、初めはなかなか試合に出られなくて、連続してスタメンでフル出場できるようになったのは17節目

あたりから。でも試合に出れない時も練習をがんばり、試合に出れば危機感を持って全力でやってきたし、そういうのが好結果につながっているのかもしれないですね。小林監督からは守備だけでなく攻撃にも積極的に絡むようにと言われています。正直言うと、攻守にフルに走り回るのは本当にキツイ。でもポランチの自分が攻守にがんばって点も取れば、それだけ勝利に近づけるわけで、いまはそれが自分の責任と、思っています。

——ではコンディショニングづくりとか、そういう気を遣うわけですね？

秋葉 そうですね。コンディショニングの善し悪しはすごく大切ですから、食べ物などにも気を遣います。幸い、昨年結婚したもので、食事の面では妻がフランスのいい食事を心がけてサポートしてくれています。それも好成績を残せている理由かも知れません。

——ご実家は上山市で農家をされていると聞いています。

秋葉 はい、上山市の西郷でさくらんぼやラ・フランス、ブドウ、それに米



©SPORTS YAMAGATA 21



©SPORTS YAMAGATA 21

などをつくっています。子供の頃はさくらんぼの収穫や、さくらんぼを詰め箱の組み立て、あと剪定した枝を拾うのなんかを手伝ったこともありましたが、いまはできた作物をもらって帰るだけ（笑）。米などは、試合で活躍すると賞品でもらえることがあるのですが、親父はウチの美味しい米を食べながら言っていますね（笑）。

——遠征先ではホテルなどの食事が多くなると思いますが、山形の食べ物が好きになったりはしませんか？

秋葉 遠征先ではたいていバイキング形式の食事です。たしかに飽きぐるものもありません。チームメイトはいろいろな県出身の選手がいるわけですが、米でもそばでも果物でも、山形のはうまいと言っています。そういうのを聞くと、やっぱり自分も山形県人として嬉しくなりますね。

——さて、チームとしての目標はいうまでもなく、J1昇格だと思えますが、秋葉選手ご自身は、一人のサッカー選手としてこれからどんな夢、目標に向かってやっていますか？

秋葉 プレーヤーとしては、所属するモンテディオ山形の勝利に貢献することが第一で、その結果としてJ1に昇格するのがやはり最大の目標です。で

も最近では、自分は山形県出身で辛いことに山形のチームに所属できているわけですので、なんというか、サッカーを通じて山形を盛り上げていきたい、山形を元気にしていきたい、と思うようになりました。プレー以外のこと、たとえばこういうインタビューでも、試合や練習を見に来てくれた人たちへのサインとかファンサービスでも、ちゃんと対応して、喜んでもらえたらいい。そんなふうに思います。でもやっぱり一番は試合で勝ってJ1へ行くことですね。そのためには多くの皆さんにスタンドに足を運んでいただいて、応援していただくと、試合を楽しんでもらいたい。僕らも多くの方に応援していただくと、大きな力になってがんばれます。そうやって互いに関係をつくって、一緒にJ1を目指せたらと思います。ぜひホームグラウンドのNDソフトスタジアム山形へ、足をお運び下さい。

——JAやまがたも応援します。本日はありがとうございました。

Akiba Masaru



農

業経営の維持・安定を図るために JAやまがた青果物販売協力会と米取引会社に要請

7月22日、東京においてJAやまがた青果物販売協力会全体会議が開催されました。この会議では、JAやまがた青果物販売協力会（青果物市場）18社に、生産コスト増大に伴う農畜産物販売価格転嫁の要請が行われました。現在日本は、全世界的な食糧不足と価格高騰の中、食料自給率を引き上げる方針を示しております。しかし、原油高による影響等のために肥料や飼料、生産資材、農業機械など、生産コストが増大しているにも関わらず農畜産物価格は低迷し、農業経営に深刻な影響を与えています。

この要請に対し武井喜一同協力会長（東京千住青果代表取締役社長）は、「農家の厳しい状況は理解している。お互い協力し合っていきたい」と挨拶しました。また、23日は同様に米の大手取引会社4社にも要請を行いました。



小

学校の先生方25名が、社会科部会の研修で やまがたファームの「大郷ひろびろ直売所」を見学



山形市の大郷地区で6月18日、小学校の先生方による社会科部会の研修会が開かれました。同部会は、先生方が学校の社会科教育について研究・研修するための集まりで、この日は山形市内の小学校に勤務する25名の先生方が参加し、今年4月にオープンした「大郷ひろびろ直売所」とやまがたファームの2ヶ所の農場を見学しました。見学の後に開かれた反省会では先生方からたくさん質問が出されましたが、当JAの渡辺推進監は、「地産地消や食育といったことが言われているが、農家や農協の新しい取組みについても子どもたちに伝え、関心を持ってもらいたい」と話していました。

豊

田スーパーはえぬき同志会の石川会長が 講師となり、東京の小学校で食農教室を開催！



東京都渋谷区の長谷戸小学校（校長 島崎 均）で7月4日、豊田スーパーはえぬき同志会の石川貞義会長が講師となつての食農教室が開かれました。この日は同校の5年生に、米やさくらんぼの栽培管理などについて石川さんがわかりやすく説明。また今年の5月下旬に児童たちが植えた稲についても、水草対策などを説明しました。そして一人ひとりにさくらんぼがプレゼントされ、児童たちは山形の味を堪能していました。この食農教室は今年で3年目。米づくりに関することだけでなく、児童や先生方が山形に来て農業体験をするなど、年々交流が深まっています。

J

1目指して、頑張れモンテディオ山形！ ホームゲーム広島戦の前に、さくらんぼを贈呈



天童市の県総合運動公園内にあるNDソフトスタジアムで6月20日、モンテディオ山形のホーム試合が行われました。相手はJ2首位のサンフレッチェ広島ということで、雨天でしたが大勢のサポーターが集結しました。その試合開始に先立ち、当JAでは両チームにさくらんぼの贈呈を行いました。贈呈したさくらんぼは「紅秀峰」6kgで、当JAの佐藤浩常務と職員2名が選手と審判に手渡しました。試合は広島に先取点を取られたものの、前半終了間際に同点、そして後半に逆転し、2対1でモンテディオが勝利を収め、スタジアムは大変な熱気に包まれていました。

本

沢集荷場でデラウェアの出荷がスタート 今年は13億4100万円の販売高を見込む



山形市長谷堂のJAやまがた本沢集荷場で6月25日、デラウェアの出荷出発式が行われました。式典には生産者や関係者、約100名が出席。この席で当JA広域ぶどう部会の渡辺君男部会長は「今年も甘くておいしいぶどうができた。生産者の皆さんには安全安心でおいしいぶどうの出荷をお願いしたい」と挨拶しました。今年の販売目標は2606トン、13億4100万円で、当JAが取り扱う果実では一番の販売高となる見込み。この日は480kgが京浜方面へと出荷されました。また出発式にはさくらんぼ幼稚園の園児32名も訪れ、かわいい踊りを披露してくれました。

出

羽トマト部会が地元の小学校にトマトを贈呈 給食で児童たちが、丸かじりして味わいました！



山形市立出羽小学校（芳賀正樹校長、児童数353名）で7月10日、恒例のトマト給食が行われました。当JAの出羽トマト部会（増川晴康部会長）が、地元で栽培した新鮮なトマトを味わってもらおうと出羽小学校に贈呈したもので、今年で5回目。贈呈したトマトはこの日の給食で児童たち一人ひとりに配られました。給食の準備も終わり、「いただきます」の挨拶で給食を食べ始めた子どもたちは、「トマトを食べるとおいしい？」と聞いたりしながら、真っ赤なトマトを大きな口でガブリと丸かじりしていました。「とってもおいしい」と満足げな様子でした。

山

形県さくらんぼ品評会で上山市の 黒田実さんが通算5度目の最優秀賞に輝く！



前号の特集でご紹介したように、天童市にあるJA全農山形で6月20日にさくらんぼ品評会が行われ、佐藤錦パック詰め部門で上山市の黒田実さんが最優秀賞（農林水産大臣賞）に輝きました。黒田さんは今回で5度目の最優秀賞受賞ということになります。黒田さんは約60㎡の畑で佐藤錦・ナボレオン・紅秀峰などのさくらんぼを栽培していますが、美味しいさくらんぼを作るために特に気を付けているのは「剪定」で、摘果などの作業は基本的には行わないということです。現在は自分の作業のみならず、多くの方に剪定の指導をしているとのことでした。

こんな花の楽しみ方もある！ 花の手鞠に風鈴を付けて、 オリジナルの「花風鈴」をつくってみよう

“暮らしに花と緑を”と銘打った好評の新企画。今回は山形市薬師町にある花屋さん『さいとう生花店』の齊藤大介さんに、齊藤さんが考案したオリジナルの『花風鈴』の作り方を教えていただきました。アクアボールに花を差し込んで“花の手鞠”を作り、それに風鈴をプラスしたもので、いまの時期にぴったりの逸品。お子さんと一緒に、ぜひ挑戦してみてください！



さいとう生花店
齊藤大介さん
薬師町で33年続く「さいとう生花店」の2代目店主。店頭には全国各地から取り寄せた生花を揃えているが、生花だけでなく葉もの、実ものにも力を入れている。花瓶や鉢類など花器も充実。



- ① 使用した花は、左から鉄仙の実、ヒメアスター、スプレー菊。他にアクアボール、針金、ビーズ玉、風鈴などの小物、釣り糸などのナイロン線。
- ② アクアボールにナイロン線を通して、針金に線を引っかけて刺し通す。この時、後で線が抜けないう、線の端にビーズ玉を固定しておく。
- ③ アクアボールにナイロン線を固定したら、下になる方に風鈴を結んで固定する。アイデア次第で他の小物や短冊などでもOK。
- ④ アクアボールに茎を2cmほど残してカットした花を差し込んでいく。できあがりを見ながら、隙間のないようなキレイに刺していく。
- ⑤ 使う花は2〜3種類程度にし、あまり多く使わない方がいい。花を刺し終わったら、上のナイロン線でするす場所に結び固定する。

※アクアボールの入手は花屋さんに相談してみてください。また完成後は5日くらい楽しめますが、水やりを適宜して下さい。
協力/さいとう生花店 山形市薬師町1-15-8 電話023-632-2047

地域の話 題

イベントやまつりなど地域の話をお届けします。

山形市 YAMAGATA

紅花の里・高瀬で、「第23回 山形紅花まつり」開催 地区民上げての祭りは、ますます内容充実。賑わう紅花の里！



“紅花の里”として知られる山形市高瀬地区で7月12日と13日、恒例の「山形紅花まつり」が開催され、好天にも恵まれて多くの来場者で賑わいました。12日は午前10時から、高瀬紅花ふれあいセンターでオープニングセレモニーを開催。市川昭男山形市長や酒井

靖悦山形市議会議長など多数の来賓を迎えて開会式を行った後、3人の紅花娘や地元・高瀬小学校の児童たちが来場者に紅花の無料プレゼントを行いました。また地区の人たちが花笠踊りや大黒舞などを披露したり、お昼には餅つきを行ってつくたて餅を来場者に振る舞ったりし、さまざまな企画で祭りを盛り上げました。

会場にはさまざまな出店が立ち、地元の方たちが高瀬特産の木地製品や、焼き鳥や玉こんにゃく、笹巻きなどを販売したりしていましたが、当JAでもおいしさ直売所鈴川店が出店し、新鮮な野菜や果物を店頭に並べて来場者にアピールしました。また今年の紅花娘の一人として、当JA高瀬支店の畠山美紅さん（窓口担当）が選ばれ、可憐な舞姿で紅花の無料プレゼントや紅花畑での写真撮影会などさまざまな仕事をこなし、大活躍しました。

上山市 KAMINOYAMA

上山市小倉の「蔵王ペンション村」で、お庭を公開！ 各ペンションが自慢のガーデンを一般公開。咲き競う美しい花々！



蔵王温泉の近くにある上山市小倉の「蔵王ペンション村」で7月5日〜13日、各ペンションがそれぞれの敷地内で手入れしているガーデンを訪れた人たちに開放する「'08山形蔵王オープンガーデン・夏の庭」が開かれ、連日多くの人で賑わいました。

この“オープンガーデン”は、'98年春に初めて行って以来ずっと続けているもので、今年で11回目。最初は2〜3軒のペンションで始めたそうですが、折からのガーデニングブームなどもあって多くの人が訪れるようになり、いまでは村内にあるペンション11軒のうち8軒が参加するようになりました。期間中は女性を中心に多くの方が訪れ、週末などは駐車場が足りなくなるほどの賑わい。訪れた人たちは各ペンションを回って見事なガーデニングを楽しみながら、気に入ったペンションでランチを食べたりお茶やケーキなどを味わって楽しんでいるということです。次回は「秋の庭」として10月18日(土)〜26日(日)に公開する予定で、期間中の25日と26日はオープンガーデン感謝デーとして、楽しいイベントを企画中とのこと。ぜひ足をお運び下さい。

<http://www.geocities.jp/zaoopengarden/>

九月のまつり イベント

- 【山形市】
- 9/7(日)：日本の芋煮会フェスティバル
- 9/14(日)〜9/16(火)：六蔵八幡宮例大祭
- 9/24(水)：蔵王地蔵尊秋季大祭
- 【上山市】
- 9月中旬：かみのやま温泉全国かかし祭
- 9月中旬：上山秋まつり

- 9月中旬：国際下駄飛ばし選手権大会
- 【山辺町】
- 9月上旬〜9月下旬：盆栽展示会
- 【中山町】
- 9/6(土)〜9/8(月)：山形県農業まつり農機ショー
- 9/28(日)：ミニSL秋の運転会

